

# けやき

医療の原点は思いやり

2022  
MAY

13  
vol.



特集

日常生活を守るためのがん治療「外来化学療法」

地域医療  
連携室だより

がん薬物療法専門医として



## 特集 日常生活を守るためのがん治療「外来化学療法」



### 副作用を抑える薬の改良が進み、外来での治療が可能に

がんの治療法は「局所療法」と「全身療法」があり、手術療法、放射線療法は局所療法、化学療法（抗がん剤治療）は全身療法にあたります。これまでは手術が中心でしたが、最近では放射線療法や化学療法が進歩し、がんの種類やその特徴・進行度によっては、手術と同等あるいはそれ以上の効果があると認められています。

化学療法は、薬剤を点滴や注射で血液内に入れて、全身に行きわたらせ、がん細胞を死滅させたり、増殖を抑えたりする治療法です。全身を巡るため小さな転移にも効果がありま

すが、健康な細胞にも影響するため、さまざまな副作用があらわれる可能性もあります。

そのため、「脱毛や吐き気などの副作用がつらいため、入院での治療が必要なのは？」というイメージを持たれる方も多くいます。けれども近年は、抗がん剤自体が改良されたり、副作用をやわらげる薬も開発されてきました。また、「治療中でもふだんと変わらない生活を送りたい」という患者さんの希望もあり、入院せずに外来通院で化学療法を受けられる患者さんが増えてきています。



## 専門スタッフによるチーム医療できめ細やかに対応

当院の外来化学療法の利用者は年々増加しており、2020年度以降は延べ5000件を超えています。外来化学療法センターでは、がん薬物療法専門医、がん化学療法看護認定看護師やがん薬物療法認定薬剤師、外来がん治療認定薬剤師などの資格を持つスタッフが、患者さんの治療にあたっています。

治療にあたっては、お勤めの方は昼休み時間を利用するなど、できるだけ日常生活に影響が出ないように計画も立てています。近年では、仕事と治療を両立するため国の制度が充実してきました。不安なことがあれば、がん相談支援センターのスタッフもご相談をお受けします。



近年、「従来の抗がん剤（殺細胞薬）」に加えて、がん細胞を選択的に攻撃する分子標的薬や、免疫細胞の力を使う「免疫チェックポイント阻害薬」といった新しい薬剤も多く登場してきました。新しい薬剤の取扱いには、従来の薬剤とは違った対応が必要で、医師、看護師を中心としたチームが連携しています。このほか、外来化学療法センターでは、がん診療に関わる様々な部門や、臨床心理士、管理栄養士などとも連携して、診療科・職種横断的なチーム医療に取り組んでいます。



副病院長  
兼外来化学療法センター長  
兼がん診療センター長

とびた ただす  
**飛田 規**

## 専門的知識をベースに 患者さんを身体的、精神的にサポート

がん化学療法看護認定看護師 いいた **飯田 みつえ**

特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有する者として、日本看護協会の認定を受けた看護師を認定看護師といい、静岡県内には41名のがん化学療法看護認定看護師がいます。

私は、外来化学療法センターに勤務し、専門的知識に基づき、薬物治療を行う患者さんの安全な投与管理、副作用対策やマネジメント、セルフケア支援、治療期間中の身体的精神的サポートを行っています。また、がん診療チームの一員として多職種と協同し、がん患者さんやそのご家族の支援にも携わっています。「地域がん診療連携拠点病院（高度型）」として、がん看護や化学療法看護の質の維持向上のため、病院内外の教育や相談指導にも取り組んでいます。

患者さんやそのご家族は、がんと診断された時から、さまざまな思いを抱いて治療に臨んでいます。つらい思いに共感し、その人らしく安心して治療が続けられるよう、最小限の苦痛で最大限の効果を得ることを目指し、一人ひとりの患者さんに寄り添った看護を提供していきたいと思っています。

がんの薬物治療の不安や副作用でつらい時など、ひとりで悩まずに気軽に声を掛けてください。外来化学療法センターのスタッフとともにお手伝いさせていただきます。



## 地域医療 連携室 だより

# がん薬物療法専門医として

消化器内科科長 たきなみ まさたか 瀧浪 将貴



チームミーティングで多職種と情報共有を行う瀧浪医師

## がん医療の進化について

当院は、人口46万人を有する中東遠地域で唯一、高度ながん医療を提供する「地域がん診療連携拠点病院（高度型）」に指定されており、各臓器の専門医が十分な知識と経験のもと、がん医療を提供しています。

がん医療は急速に進歩し、臓器ごとに専門性が高まっています。例えば、多数のがん治療薬の中から、治療効果が期待できる薬剤を選択するための遺伝子検査の種類は、臓器毎に急速に増えています。「オプジーボ<sup>®</sup>」などのがん免疫治療薬も多くの臓器で使用できるようになり、2種類のがん免疫療法薬の併用療法、従来の殺細胞性抗がん薬との組み合わせ、術後の再発を減らすための補助療法が新しい治療となりました。

臓器別の治療が高度化する一方、がんに関するメカニズムの解明とともに「高頻度マイクロサテライト不安

定性を有する固形がん」を代表とした臓器にとらわれない治療も登場し、がん医療はさらに進化しています。

## 一人ひとりに適した医療の提供

がん薬物療法専門医は、質の高いがん医療を実現するために、幅広い臓器のがん薬物療法の知識と技術をもった医師です。私は、がん薬物療法専門医として、それぞれの専門医やがん専門の薬剤師・看護師・緩和ケアチームと連携し、臓器別の専門性が高い治療または臓器にとらわれない治療の選択などに関わることで、地域の患者さん一人ひとりに適したがん医療を提供できるよう、最善を尽くします。また、がん免疫治療における肝機能障害に関する多施設共同研究や、がんの診断・治療に欠かせない放射線を用いた内視鏡検査をより安全にするための機器について企業と共同開発するなどを通して、がん医療の発展にも全力で貢献しています。



消化器内科科長 瀧浪 将貴

### 認定資格

日本内科学会認定内科医  
日本肝臓学会認定専門医  
日本消化器病学会専門医  
日本消化器内視鏡学会専門医

がん薬物療法専門医  
緩和ケア研修(PEACE)修了



がん薬物療法認定薬剤師は、がん医療に関する高度な知識と技術を身につけ、患者さんによりよい医療を提供することができる薬剤師に日本病院薬剤師会が認定している資格です。2021年10月1日現在、全国で1,029名が認定されていますが、病院・診療所に勤務している薬剤師の約2%程度しかいません。このような専門資格ですが、当院には2名が在籍しています。

主な業務はがん薬物療法の専門家としてチームに参加し、医師や看護師に適切な助言や提案を行い、患者さんに



抗がん剤の調整を行う薬剤師



がん薬物療法認定薬剤師として活躍する後藤薬剤師(右)と廣瀬薬剤師(左)

対して最適な薬物療法が行われるよう、努めることです。また、患者さんやそのご家族に対して薬物療法における説明や指導を行うことで、理解を深めていただく手助けをすることも大切な役割となります。加えて、スペシャリストとして抗がん剤による副作用のフォローや対応策の提案をしながら、薬物療法のみならず、社会的、精神的にも健やかに生活を送ることができるよう、様々な面において支援を行っています。

## 解説!

### 腫瘍マーカーのおはなし

臨床検査技術科

#### Q 腫瘍マーカーとは?

**A** 腫瘍とは、体内の細胞の一部が突然変異して増殖し、しこりのようになったものを言います。腫瘍には良性と悪性があり、悪性腫瘍のことを「がん」と呼びます。

体内にがんが発生すると、健康な時にはほとんど見られない特殊な物質が作られて血液や尿の中に現れます。この物質を腫瘍マーカーといいます。

代表的な腫瘍マーカー:CEA、CA19-9、AFP、PSA、CA125など



#### Q 腫瘍マーカーの検査結果が高ければ、がん?

**A** 腫瘍マーカーは、がん細胞の数が増えると値が高くなります。しかし、飲酒や喫煙などの生活習慣、がん以外にかかっている病気や薬などの影響により、がんの有無とは無関係に高くなることもあり、逆にがんであっても値が高くない場合もあります。また、がんが発生する臓器ごとに腫瘍マーカーは異なります(AFP:肝臓、PSA:前立腺など)。

検査の数値が高いからといってがんが確実に存在するわけではなく、反対に検査の数値が低いからといって完全にがんを否定できるものではありません。

医師の診断は、血液検査、超音波検査やX線・CT検査などの画像検査、生検、身体所見なども含めて総合的に判断しています。

腫瘍マーカーは万能ではありません。過度に安心したり、不安に思ったりせず、慎重な判断が必要です。腫瘍マーカーだけに頼らず、まずは画像検査などを含めた健康診断を定期的に受けることを一番にお勧めいたします。



## 新しい仲間が加わりました

～磐田市立総合病院へようこそ!～



研修医16名、看護師30名、薬剤師2名、臨床検査技師2名、臨床工学技士2名、事務職員1名。  
自分の描いている夢の実現に向けて、これからの日々を頑張っていきます。



研修医  
きりのき けんたろう  
**桐木 健太郎**

【趣味】バスケットボール

【好きな言葉】切磋琢磨

【今後の抱負】先生方の指導が丁寧で充実している磐田市立総合病院で研修を受けられること、大変嬉しく思います。まだ分からないことも多いですが、1つ1つ学んでいき、少しでも早く中東遠地域の医療に貢献できるように努めて参ります。



臨床工学技士  
とりい ききょう  
**鳥居 桔梗**

【趣味】映画鑑賞

【好きな言葉】幸福の秘訣は、自分がやりたいことをするのではなく、自分がやるべきことを好きになることです。

【今後の抱負】臨床工学技士は、医療機器を通じて、安全な医療を提供する素晴らしい職業です。臨床工学技士になった今、様々なことに精一杯取り組み、医療機器のスペシャリストである臨床工学技士として、チーム医療に貢献していきたいです。



看護師  
さいとう  
**齋藤 ひかり**

【趣味】バレエ・ストレッチ

【好きな言葉】ありがとう

【今後の抱負】社会人や専門職という自覚を正しく持ち、思いやりと笑顔をいつまでも忘れずに大切に、患者さんやご家族の心に寄り添う看護を目指していきます。そして、患者さんやチームからも頼られる看護師になりたいです。



薬剤師  
とみなが ゆうき  
**富永 祐希**

【趣味】テニス

【好きな言葉】人生1度きり

【今後の抱負】今年から薬剤師として働くことになり、目の前の医療に真剣に向き合っていきたいと思っています。

薬の専門家として地域の皆様の健康に貢献できるよう努力して参ります。よろしくお願い致します。



臨床検査技師  
おざわ りさ  
**小澤 里咲**

【趣味】ギターを弾くこと

【好きな言葉】一期一会

【今後の抱負】検査を通じて多くの患者さんの助けとなるために、確かな技術を磨き、医療現場のニーズに答えられるような検査技師を目指していきたいです。

また、より専門的な知識を身に付け、認定資格の取得にも挑戦したいと考えています。



# 院内日記

磐田市立総合病院ニュース



## 未来に向かって羽ばたく研修医!

3月15日(火)、2021年度初期臨床研修修了証書授与式を行い、15名の初期研修医が鈴木病院長より一人ひとりに激励の言葉とともに証書が手渡されました。

この日を迎えることができたのは、指導医やスタッフだけでなく、患者さんやそのご家族からの多くの支えがあったおかげと思います。

医師として様々なことを経験し、数多くの方々との出会いに恵まれたことは、とても大きな財産となったはずです。

今の晴れやかな気持ちを忘れずに、各々の与えられた場所で、患者さんやそのご家族を笑顔にできる医師になることを祈念しています!



## 令和3年度の業務改善・5S活動 コンテストの表彰式開催!

業務改善と5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)活動は当院の文化です。

3月22日(火)に、業務改善・5S活動コンテストの表彰式が行われました。

令和3年度は、業務改善部門に28チーム、5S部門に66チームの報告があり、その中から全職員の投票により選ばれた5チームずつが優秀賞として表彰されました。

業務改善部門では、他職種で協力して取り組み、職員だけでなく患者さんにもわかりやすい運用に改善できた取り組みや、県内初の取り組みであった抗がん剤の投与方法の変更といった専門的な取り組みもありました。

5S部門では、整理・整頓をすることで業務が効率よく行えるようになっただけでなく、患者さんの転倒防止対策などの医療安全対策の向上につながった取り組みがありました。

これからも患者さんへの安全・安心な医療の提供につながるよう、病院全体でこのような活動に取り組んでまいります。



## iwatagram

職員の特技や趣味を紹介します



かたおか あつひろ

片岡 純大

診療放射線技師

週末は、絶景を求めてカメラ片手に出掛けています。



#一眼レフ #週末カメラマン #絶景 #磐田  
#うさぎ山公園 #桜のトンネル





1人前あたり

エネルギー 404kcal 脂質 3.8g  
たんぱく質 8.4g 炭水化物 80.1g  
食塩相当量 0.9g

**材料 3人分**

- ・米 … 2合
- ・えんどう豆 … さや付き100g (正味50g)
- ・桜えび(乾燥) … 5g
- ・有塩バター … 10g
- ◎顆粒コンソメ … 小さじ1
- ◎塩 … 1g (ひとつまみ)
- ◎胡椒 … 少々
- ・乾燥パセリ … お好みで



**えんどう豆と桜えびの炊き込みピラフ**

**作り方**

- ① 米を研いで炊飯器の内釜に移し、2合の目盛りまで水を加えて30分程度浸水させる。
- ② えんどう豆はさやから取り出し、さっと洗って水気を切る。
- ③ バターを4等分に切る。
- ④ 浸水させた米に◎を加えて軽く混ぜる。
- ⑤ ④にえんどう豆と桜えびを散らし、最後にバターを乗せて通常コースで炊飯する。
- ⑥ ご飯が炊き上がったら軽く混ぜ合わせて器に盛り、お好みで乾燥パセリを散らす。



当院管理栄養士

定番の豆ごはんをアレンジして、桜えびとバターの風味をプラスしました。ぜひ、旬の新鮮なえんどう豆で作ってみてください!



**採血案内メール 配信サービス開始しました!**

スマートフォンで**採血整理券のQRコード**を読み取り、空メールを送信いただくと、採血の順番が近づいたことをお知らせする**案内メール**が届きます。案内メールが届いたら、採血室前のモニター表示に従って、中にお入りください。患者さんの集中により、採血室周辺が混雑している時など、是非ご活用ください。

整理券番号

**14**



整理券のQRコードを読み取る

- 採血があります。
- 検尿があります。



**磐田市立総合病院**

〒438-8550 静岡県磐田市大久保512番地3

TEL:0538-38-5000 FAX:0538-38-5050

<https://www.hospital.iwata.shizuoka.jp>



過去の「けやき」  
はこちら



インスタグラム  
はこちら



フェイスブック  
はこちら